

## 歴史(江戸時代⑧・1つ目の改革編)

第5代将軍①\_\_\_\_\_は儒学を奨励し、その中でも②\_\_\_\_\_学が広く学ばれた。しかし、③\_\_\_\_\_令を出すなどして民衆の反発を招き、財政は悪化した。その後、儒学者の④\_\_\_\_\_が財政の立て直しに努めた。

第8代将軍⑤\_\_\_\_\_は、⑥\_\_\_\_\_という裁判の基準となる法律を定め、庶民の意見を聞く⑦\_\_\_\_\_を設置した。また、参勤交代をゆるめる代わりに、米を献上させる⑧\_\_\_\_\_を定めた。これを⑨\_\_\_\_\_の改革という。

農村では、土地を手放して⑩\_\_\_\_\_となる者や、土地を買い集めて⑪\_\_\_\_\_になる者がいた。また、18世紀ごろから、大商人などが農民に原料や道具を前貸しして、できた製品を受け取る⑫\_\_\_\_\_が発展し、19世紀ごろには、工場に働き手を集めて、分業で製品をつくる⑬\_\_\_\_\_も始まった。